

眠れるお宝を探せ！

～物価高が追い風のオフプライス・リセール市場に脚光～

岡三証券 投資戦略部
グローバル株式戦略チーム ストラテジスト 八木 菜摘

原油価格の高騰や高関税で節約志向が高まる

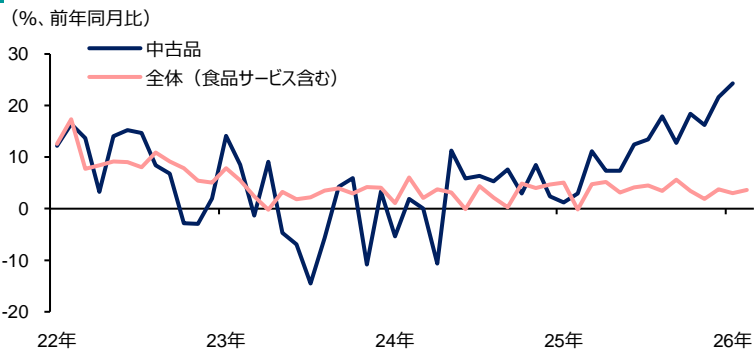
原油高や米関税政策による物価高を受け、世界的に在庫処分品等を扱うオフプライス市場や、中古品を扱うリセール市場などへの関心が高まっている。

米国では、服飾品は輸入依存度が高く価格が関税に左右されやすいほか、食料品等と比べて必要度が低い裁量品であるため、消費者がより手頃な価格帯の製品に切り替えやすい（＝トレードダウンしやすい）分野の1つと考えられる（図表1）。一部調査では、2025年に米国の古着市場規模は前年比13%拡大し、服飾品市場全体の伸び（同3.6%）を大幅に上回ったとされる。こうした裁量品を中心に中古品人気広がっているとみられ、米国では2025年以降、中古品売上高が小売売上高全体を大きく上回るペースで増加している（図表2）。

服飾品に加え、今後は電子機器等の中古品ニーズも高まりそうだ。近年、半導体メモリー企業はAI向けメモリー生産に注力しており、コンシューマー向けメモリーが供給不足の状態にある。その結果、足元で半導体製品を含む電子部品価格は大幅に上昇しており（図表3）、2026年はスマホやPCから自動車まで幅広い製品で供給不足や値上げが進むと予想されている。同分野でも在庫処分品や中古品を買い求める動きが広がるとみられ、リセール市場の更なる活況につながろう。

図表2. 米国では中古品売上の伸びが加速

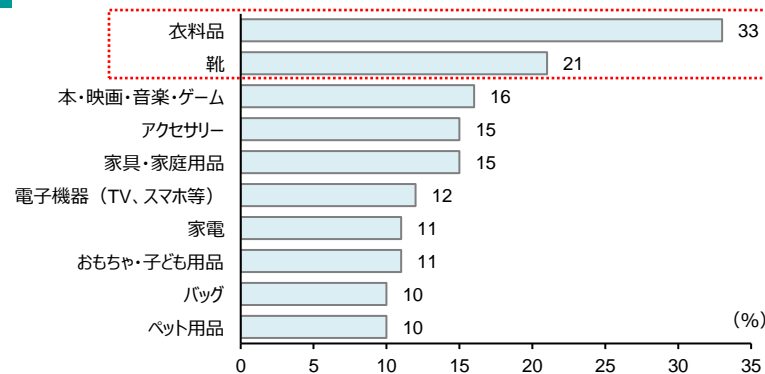
米国 中古品売上高と小売売上高全体の伸び率推移



出所：FRED 作成：岡三証券 季節調整前 月次
直近は中古品が26年1月分、全体が26年2月分（速報値）

図表1. 衣料品や靴は中古品購入の割合が高い

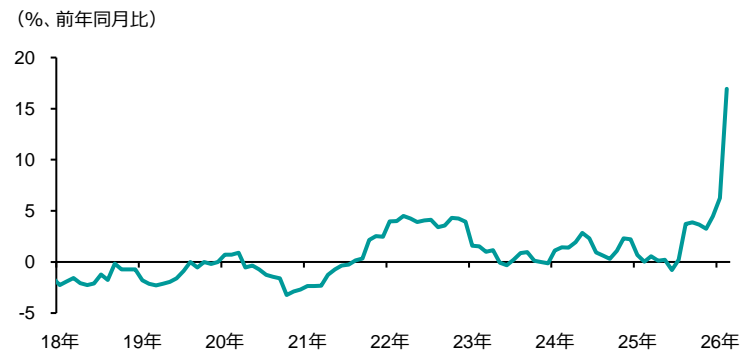
米国 過去12カ月間で中古品を購入した回答者の比率（分業別）*



Statistaのデータを基に岡三証券作成
*調査期間は24年10月-25年9月、回答者は18-64歳の15,492人の米国人、複数回答含む

図表3. 企業が調達する半導体や電子部品の価格が急騰

米国 生産者物価指数（PPI）：半導体・電子部品製造セグメント



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 月次 直近は26年2月分

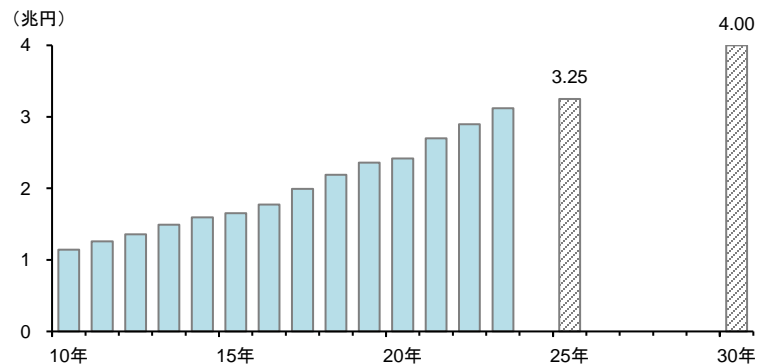
世界が注目する日本の中古高級品

トレードダウンは高級品でもみられている。世界の高級ブランド企業は2020-23年の間に平均約36%の値上げを行ったと見積もられており、中古品が注目されるきっかけとなっている。

こうしたなか、品物の状態や品質の良さを背景に、「Used in Japan（＝日本で使われた）」中古高級品の人気世界的に高まっている。日本でのインバウンド顧客による実店舗での購入も盛況であるほか、ECでも国を超えた中古ブランド品の売買が活発化している。イーベイ・ジャパンでは、2025年の越境ECの取引額1位はレディースのブランド小物で、その他では高級腕時計の売買も好調だった。販路の多様化で欧州や豪州、アジアなど幅広い国への展開が本格化しており、今後も海外向けリユース市場の盛り上がり期待できそうだ。

日本でも徐々に物価高が浸透するなか、国内で節約志向は更に強まるだろう。他方、世界的な中古品ブームを背景に、質の高い日本の中古高級品人気も継続するとみる。環境省によると、国内のリユース市場は2030年にかけて一段の拡大が見込まれており、関連企業の業績拡大余地も大きいだろう（図表4,5）。

図表4. 国内リユース*市場規模も拡大が見込まれる
日本 リユース市場規模（法人間売買、輸出、自動車、住宅除く）



出所：環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室
「令和6年度 リユース市場規模調査報告書」 作成：岡三証券 2025年6月現在
*ここではフリマアプリや実店舗での中古品売買全体を指す

図表5. 主な関連銘柄

分類	主な特徴	銘柄（コード/ティッカー）
CtoC/BtoC 取引プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者間（CtoC）や企業・消費者間（BtoC）の商品売買の場を提供 ・基本的には在庫を抱えないため、検品等の作業や保管コストが不要 ・CtoCでは消費者間取引の手数料収入が主な収入源 	日 メルカリ（4385） 米 イーベイ（EBAY） 米 アマゾン・ドット・コム（AMZN）
オフプライス （新品在庫を企業から買取、販売）	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドの在庫処分品を買い取り、定価より20-60%安い価格で販売 ・低価格性だけでなく、掘り出し物を探す「宝探し」体験にも付加価値 	米 TJX（TJX） 米 ロス・ストアーズ（ROST）
リセール （中古品を個人等から買取、販売）	<ul style="list-style-type: none"> ・高級ブランドでは1点物のヴィンテージ品等を展開 ・高級品は自社や他社で鑑定し、「鑑定済み商品」として販売する場合も ・企業側が価格決定権を持つため、安く仕入れて高く売ることが可能 	日 コメ兵HD（S2780） 日 BUYSELL（G7685） 日 ブックオフGH（9278）

出所：各種資料 作成：岡三証券 すべて岡三証券取り扱い銘柄 ※カッコ内のSはスタンダード、Gはグロース ※BUYSELLはファイナンス銘柄（4月14日現在）

米国 主な関連銘柄

イーベイ (EBAY)



越境ECプラットフォーム大手

世界190以上の市場で売り手と買い手をつなぐ越境ECプラットフォーム「イーベイdotコム」を運営。収集品のオークションサイトとして知名度を高める。2019年以降は、電子チケット販売や一部広告事業など複数の事業を売却し、高級品売買の強化に注力する。

近年は高級品の認証や決済等の分野で各業界の企業と提携しており、高級品売買の拡大に貢献している。高級品以外ではトレーディングカードや自動車部品、電子機器等の売買が旺盛。2026年2月には、若年層に人気のCtoC古着売買アプリを手掛けるDepopの買収を発表しており、リセール市場での更なるシェア拡大が見込めよう。

株価チャート (週足)



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 4月13日現在

TJX (TJX)



アパレルやホームファッション品のオフプライス小売大手

製造業や小売業者など数多くのベンダーから高品質な余剰在庫を安く仕入れ、定価より20-60%安い価格で販売する。26/1期通期では米国内売上が全体の77%を占める。100か国以上に21,000社を超える仕入れ先を抱える（2025年2月現在）。

商品の低価格性に加え、常に変化する商品ラインナップ、「宝探し」体験、アクセスしやすい店舗の立地などが消費者の購買体験の向上につながっている。加えて、インフレによる節約志向の高まりは、①客足の増加、②仕入れ先であるメーカー等の余剰在庫削減ニーズ（＝仕入れ機会）の増加、という観点から当社の追い風となろう。

株価チャート (週足)



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 4月13日現在

日本 主な関連銘柄

メルカリ (4385 プライム)



フリマサービス運営大手

日本最大のフリマサービス「メルカリ」を運営。フリマサービスを軸とする Marketplace 事業のほか、金融サービスを手掛ける Fintech 事業などを展開する。

AIを活用した不正対策が奏功し、26/6期上期の国内フリマの月間平均利用者数は過去最高となった。2025年9月からは台湾・香港で世界共通アプリ「メルカリ グローバルアプリ」の提供を開始。3年以内に50以上の国や地域への拡大を目指す計画で、グローバル事業の拡大が期待できよう。

株価チャート (週足)



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 4月13日現在

コメ兵HD (2780 スタンダード)



ブランドリユース国内売上高No.1

中古品をメインとしたジュエリー、時計、ブランドバッグ、衣類などの買取と、販売やオークション運営を中核とする大手リユース業者。主力ブランドの「KOMEHYO」は主要都市に出店する旗艦店のほか、買取併設販売店、買取専門店を手掛ける。

2月のブランド・ファッション事業の月次売上高は、前年同月比44.1%増となった。金相場の上昇トレンドを背景に、金・地金の買取が増加した。3月には、福岡に同県2店舗目となる販売店を開いた。新店舗では衣料品のほか、比較的安価な商品もそろえる予定。リユース経験のない潜在顧客の取り込みが期待できよう。

株価チャート (週足)



出所：LSEG Workspace 作成：岡三証券 4月13日現在

重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

【手数料およびリスクについての重要な注意事項】

- ・金融商品の購入には手数料等その他の費用がかかります。
- ・金融商品にはリスク(元本損失を生じるおそれ)があります。
- ・取引や商品ごとに手数料等及びリスクが異なりますので、詳細は右記QRコードのリンク先「手数料およびリスクについての重要な注意事項」をよくご確認ください。リスク・手数料等を記載した書面をご請求される場合は、当社コンタクトセンター(☎0120-390603)までお問い合わせ下さい。



<https://www.okasan.co.jp/disclaimer.html>

【日本以外の地域における本レポートの配布】

・香港: 本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亞洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亞洲)有限公司にお願いします。

・米国: 本レポートの作成者は、米国の証券業界の自主規制機関(FINRA)にリサーチ・アナリストとして登録されておらず、リサーチレポートの作成およびアナリストの独立性に関する米国規制の適用を受けません。第三者による本調査レポートは、1934年証券取引所法規則第15a-6条(改正を含む)に定められる主要米国機関投資家(Major US Institutional Investors)に対してのみ、米国の証券会社であるWedbush Securities Inc.(1934年証券取引所法第15条に基づき登録、以下「Wedbush」といいます。)により、米国内で配布されます。Wedbushによる米国内の本レポート配布に関してはWedbushが全責任を負うものいたします。本レポートは、いずれかの管轄区域内の法令等によりWedbushが本レポートの提供を禁止または制限されている投資家を対象としたものではありません。本レポートを閲覧する前に、Wedbushが関連法令・規制に基づいてお客様に投資関連資料を提供することが許可されている旨をご自身でご確認ください。本レポートを受領・閲覧し、記載されている証券の取引を希望する米国内の投資家は全て、本レポートの発行者ではなく、以下の者と取引を行う必要があります: Wedbush Securities Inc., 1000 Wilshire Blvd, Los Angeles, California 90017, 電話番号+1(646)604-4232。

・その他の地域: 本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

(2026年4月改定)